

「広島神楽」定期公演へようこそ！

公演日 11月26日

出演団体のご紹介

亀山神楽団 ～かめやまかぐらだん～ (広島市)

亀山神楽団は昭和47年亀山地区において数名の神楽経験者により結成され、亀山神楽同好会として発足しました。昭和61年名称を亀山神楽団と改め、現在20数名で活動しております。主な活動は地域の四季の祭りへの奉納神楽、各種イベントへの出演、福祉施設の慰問等です。これからも地域の行事に積極的に参加し、神楽を愛し、舞えることを喜び、伝統芸能の継承保存につとめ、地域の皆さんに愛される神楽団を目指し、団員一同精進してまいりたいと思います。今後とも温かいご声援とご支援をよろしくお願ひ申し上げます。

19:00～ 演目①

悪狐伝 ～あっこでん～

平安時代の中頃、美しき女人・玉藻前(たまものまえ)が鳥羽天皇に仕え、寵愛(ちょうあい)を受けはじめると、天皇の深いが重なり始めます。不信を感じた陰陽師・安部泰親が占うと、玉藻前は姪酒によって王を誘惑し、悪の限りを尽くして中国から飛来した金毛九尾の狐の化身であることが判ります。正体を見破られた妖狐は、下野(しもつけ)の国・那須乃ヶ原(なすのがはら)に逃れます。そこで狐は様々な姿に身を変え、悪行を重ね里人を苦しめました。

再び美しき女人を装うと、狐は迷い人となって女人禁制の十念寺に現れ、和尚・珍斎(ちんさい)をとり喰らいます。その後、悪狐退治の勅命を受けた弓の名人・三浦介(みうらのすけ)と上総介(かずさのすけ)によって退治されるという物語です。

【出演】

玉藻前	—	大田 拓我
三浦ノ介	—	下河内 貴文
上総ノ介	—	岡崎 雅也
和尚珍斎	—	平岡 秀典
金毛九尾狐	—	坂本 紘秋

大太鼓	—	平岡 時和
小太鼓	—	東 智久
手打鉦	—	川后 愛夏
笛	—	東 弥洸

※出演者は予告無く変更になる場合がございます。

20:00～ 演目②

茨木 ～いばらぎ～

大江山に住む酒呑童子の手下・茨木童子は、都・羅城門辺りに出沒し、悪事を働いていました。その噂を聞いた源頼光は四天王の一人、渡辺綱に怪物退治を命じます。綱は怪物を討ち取ることは出来ませんでした。茨木童子の左の腕を切り取り、持ち帰ります。

左の腕を取り返すため、茨木童子は渡辺綱の伯母・真柴へと姿を変え、綱をだまし、左の腕を取り返します。そこへ、源頼光が加戦し決戦となりますが、茨木童子は戦いが不利になったため、大江山へと飛び去ってしまうという物語です。

この物語は大江山へと続きます。

【出演】

源頼光	—	下河内 貴文
渡辺綱	—	岸岡 健吾
酒呑童子	—	横山 誠樹
茨木童子	—	平岡 秀典
茨木童子の化身	—	森本 健二

大太鼓	—	大田 拓我
小太鼓	—	岡崎 雅也
手打鉦	—	下川 葵
笛	—	倉本 めぐみ

※出演者は予告無く変更になる場合がございます。

終演後(20:45頃～)記念撮影会を実施します。どうぞ最後までごゆっくりお楽しみ下さい。

※記載の時間は目安です。多少前後する場合がございますので、あらかじめご了承ください。